

総合施設モデル事業 実地調査票

○ 青森県弘前市	1
○ 岩手県水沢市	3
○ 宮城県仙台市	5
○ 秋田県平鹿町（現横手市）	7
○ 埼玉県岡部町（現深谷市）	9
○ 東京都品川区	11
○ 神奈川県横浜市	13
○ 新潟県塩沢町	15
○ 長野県長野市	17
○ 三重県東員町	19
○ 滋賀県守山市	21
○ 兵庫県加西市	23
○ 奈良県奈良市	25
○ 和歌山県白浜町	27
○ 島根県松江市	29
○ 香川県牟礼町（現高松市）	31
○ 佐賀県川副町	33
○ 長崎県佐世保市	35
○ 宮崎県南郷町	37

(計19園)

施設名・所在地	柴田幼稚園・桜ヶ丘保育園(分園) 青森県弘前市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人・社会福祉法人)
施設類型	<u>1 幼保一体型</u> 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・幼稚園と保育所分園との一体型施設。 ・園児数241人。短時間児205人、長時間児36人であり幼稚園児が多い。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置基準を満たしている。
①評価できる点など	・低年齢児への配慮から、低年齢児の担当を経験の少ない者と十分経験を積んだ者とを組み合わせ配しており、保護者が安心して預けられる環境を整えている。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有者が多く、無資格者なし。(併有 14人、幼のみ 2人) ・併有、幼は常勤職員。
①評価できる点など	・資格については併有者が多いため、職員研修の一環として夏休み中に行った、預かり保育と低年齢児保育の職員の交換時や、日常の合同活動をする際も、違和感なくスムーズに行うことができている。
②課題など	・月例会をはじめとして、会議等を頻繁に行うように努めているが、時間が合わないため全員の参加が困難である。
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・施設面積が広く、特に園舎、運動場が広い。 (一人当たり面積 園舎 11.10㎡、運動場 18.50㎡)
①評価できる点など	・書面による概要のとおり運動場が広いとため、菜園を設けており、野菜の栽培等を通して自然にふれあうことができている。
②課題など	
③その他特記事項	・モデル事業に取り組む以前から幼稚園の空き教室を使って保育を行っているため、調理室・トイレ以外は幼保の区別なく共有が行われている。

4 給食の状況

書面調査概要	・自園調理を行っている。 (0～2歳 11:00、3～5歳 12:00)
①評価できる点など	・幼保共に自園調理のため、アレルギー児への配慮や年齢に応じた食事について配慮が十分になされている。
②課題など	
③その他特記事項	・通常時は幼保で給食のメニューは異なっているが、月に1回の合同給食では幼稚園のメニューに合わせている。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・施設の共用や、一部の行事において交流を行っている。
①評価できる点など	・行事(最近では、クッキング大会、縄跳び大会)については、合同で行っているが、子どもも違和感なく非常に楽しんでいたとのこと。また、毎月の誕生会についても合同で行っている。
②課題など	・保育園が分園方式であるため本園の活動との整合性を図る必要があり、合同活動の時間を思うようにとれないところがある。
③その他特記事項	・幼稚園と同じ学校法人が大学を持っているため、カリキュラムの作成の際には、教授の意見も参考にしている。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・同一年齢の学級編成。 ・異年齢保育を実施。
①評価できる点など	・定員の関係上、幼稚園児の数が多いため、保育園児に配慮して、合同活動の際は年間通して交流するクラスを固定している。
②課題など	
③その他特記事項	・登園後すぐの自由遊びの時間については、一緒に行っている。

7 教育・保育内容③
その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・第1, 3週目の日曜日に日曜保育を行っている。 ・老人ホームとの交流や小学校との交流を積極的に行っている。 ・研修の一環として職員の交換等を行っており、それを通じて職員の子どもに対する接し方に広がりが出てきたり、幼保それぞれの職員間の考え方や価値観の共有が図られたりしてきている。
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	・10月から相談業務を行っている。
①評価できる点など	・現在12組の親子が参加しているが、給食を親子に提供しており好評を得ている。
②課題など	
③その他特記事項	・前期、後期で行う予定であったが、回覧板を用いて園周辺に周知したところ、すぐ定員に達したため、後期は募集をかけずに前期からの継続で行っている。今後事業の継続・拡大を図りたいとのことである。

施設名・所在地	駒形保育園 岩手県水沢市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (社会福祉法人)
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 <u>3 保育所型</u> 4 その他
施設の特徴	・保育所型で、保育所児218人に対し短時間児は4人。 ・以前は年齢別クラス編成であったが、数年前から3～5歳児は異年齢編成

1 職員配置

書面調査概要	・0歳児(17:7(8:含非常勤))、1歳児(28:5)、2歳児(32:7(8:含非常勤)) 3歳児(52:2(3:含非常勤))、4歳児(39:2(3:含非常勤))、5歳児(50:3)
①評価できる点など	・0歳児について経験豊富な職員を割り当てている。
②課題など	
③その他特記事項	・3～5歳児については常時異年齢保育を行っており、一クラスあたり3歳児17名前後・4歳児13名前後・5歳児16名前後の人数を3名の職員で対応している。 ・園児が多様な経験が持てるよう男性職員(1人)を増員したいとのこと

2 職員資格・研修

書面調査概要	・研修について組ごとに毎月プロジェクトを作成し、個々の問題、組の問題、保育士の問題を掘り下げている。
①評価できる点など	・1クラス3名の複数担任制のため、研修のローテーションが組みやすい。 また、片方の資格しかない職員でも複数担任であるため補うことができる。
②課題など	・研修のための時間確保が困難。
③その他特記事項	・無資格者2名については看護師であり、病児対応やけがなどの場合に専門的な知識があるため非常に助かっている。

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・3～5歳児について、午睡している間の子どもが静かに過ごせる環境の確保が難しい。
①評価できる点など	・0歳児について食事・睡眠・遊びと3室を確保している。
②課題など	・子育て支援・学童保育のための部屋があるが、今後活動規模が拡大すると手狭になってしまう。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・調理従事者に対して定期的な健康診断・検便を実施。 ・アレルギー児については入所申込みで把握し食事は別調理。
①評価できる点など	・調理保育として、洗う・切る・味付けの機会にゼリー作り・ケーキのトッピング・大根サラダ等の調理に子どもたちを参加させている。 ・子どもたちで配膳・配食を行い、自主自立のスタイルを作り出している。
②課題など	・児童の反応について給食記録は残していない。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	・指導計画として、預かり時間の長短は余り問題としていない。
①評価できる点など	
②課題など	
③その他特記事項	・短時間児は園全体で4名。複数担任制を採用、3名がリーダー・サブリーダー・アシスタントを週替わりで担当。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	
①評価できる点など	・2歳児までは異年齢保育ではないため、2歳児クラスが3歳以上のクラスに移行する際にスムーズに移行できるよう、同じ部屋で一緒に給食を取る事になっている。 ・小学校で戸惑う事の無いよう、給食の準備を5歳児の担当として同年齢だけの活動に配慮している。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	・平成14年度に第三者評価を実施。 ・学童保育も行っている。
--	-----------------------------------

8 子育て支援

書面調査概要	・以前から子育て支援を行っている。
①評価できる点など	・子育て支援の希望登録者が多数の場合、複数日に分けて開催している。
②課題など	
③その他特記事項	・子育て支援の開催日については市の広報誌で知らせているが、施設開放日などでも知らせている。

施設名・所在地	ろりぼっぴ幼稚園・保育園 宮城県仙台市
設置主体	公立・ <u>私立</u> (学校法人)
施設類型	<u>1 幼保一体型</u> 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	・幼保合同特区を H16.6 から実施。 ・幼稚園実員123人、保育所実員101人と均衡。給食は幼稚園のみ外部搬入。

1 職員配置

書面調査概要	・職員配置は幼・保の各基準を満たす。
①評価できる点など	・数年前から幼・保の職員の交流を行っており、本人の希望の有無に関わらず異動を実施して、職員の資質を高める努力をしている。 ・幼稚園クラス、保育所クラスそれぞれの担任が他方の同年齢クラスの担任も兼ねる、担任・副担任制をとっており、横の繋がりを大事にしている。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	・併有18、幼2、保1、無3 ・職員の処遇、研修を幼保で統一して設定。幼保間で違いが発生しないよう配慮。
①評価できる点など	・県外の園と共催で研修を行っている。 ・外部講師を呼んで保育の質の向上についての研修を行っている。職員だけではなく保護者からも参加者を募っている。
②課題など	
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	・自園調理(幼稚園児は外部搬入)
①評価できる点など	・庭園に柵を設け、低年齢児の万一の事故の防止を図っている。 ・調理室は通路からガラス越しに見えるオープンキッチンとなっており、父母や児童に安心感を与えられる。
②課題など	・外部搬入を行っている幼稚園児分の給食も自園調理することを考えた場合、現在の調理室では手狭であり、拡張が必要である。
③その他特記事項	

4 給食の状況

書面調査概要	・自園調理(幼稚園児は外部搬入)
①評価できる点など	・自園調理の保育所児分と外部搬入の幼稚園児分の給食を、なるべく同じようなメニューになるよう配慮している。
②課題など	・幼保同じメニューがよいと考えているが、全員分を自園調理するには調理室が手狭である。
③その他特記事項	

5 教育・保育内容①
(6を除く)

教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保共通の指針を作成して職員に周知し、保育の質を向上させ、専門性を高める努力をしている。 ・預かり保育と延長保育を同時間に設定し、双方の保護者のニーズに対応できるよう、工夫をしている。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育と延長保育を同時間に実施する場合、預かり保育の方が延長保育より料金が高いため、幼稚園側の保護者に不満がある。付近の幼稚園と預かり保育の料金に差が生じないように紳士協定を結んでいるため、料金を改定するのは難しいとのこと。
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児保育あり。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児もできるだけ参加して週末に行事を行っている。低年齢児については、体力を考え、早い時間帯で短時間参加し、その後室内で保育する等、工夫をしている。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③
その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員室を統一し、職員同士の意思の疎通を図り、児童も入りやすい雰囲気となっている。 ・保育所の職員会議を開く際には、有資格の幼稚園職員が保育所児の保育を行う等、うまく連携をしている。 ・幼稚園の夏季休暇中は、幼保職員が相互協力して同じ日数休むようにしており、職員に不満が出ないよう工夫をしている。 ・習い事(サッカー、ピアノ教室等)は先生を呼んで園内で実施しており、預かり保育の幼稚園児、保育所児ともに利用している。
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・常時、子育て相談実施。 ・集いの場として園庭開放。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの集会場等に出張し、子育て支援サービス(紙芝居等)を月1回実施している。 ・夏はプールも開放している。
②課題など	
③その他特記事項	

施設名・所在地	浅舞感恩講(あさまいかんおんこう)保育園 秋田県平鹿町(平成17年10月から横手市)
設置主体	公立 (私立) (社会福祉法人)
施設類型	① 幼保一体型 ② 幼稚園型 ③ 保育所型 ④ その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・創立120周年の社会福祉法人が母体で、保育園は設立50周年を迎えた。 ・旧平鹿町内には保育園のみ5園設置しており、幼稚園へ入園希望の場合には地区外へ通っていた。 ・横手市内では私立保育所(19園)、公立保育園(10園) ・定員120人(現員127人)。うち、幼稚園部利用児は5歳児2人のみである。

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳(2) 1歳(2) 2歳(3) 3歳(2) 4歳(2) 5歳(3) 計14名 担当クラスのない保育士(2) 園長1 教員補助1 その他 2 合計20名
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部への対応として、併有資格者(内 1名小学校教諭免許所持) 2名の配置 ・サポート保育士(3名)の配置。4歳児及び5歳児教室への補助 ・時間長短への配慮・早朝(7時～) 夕方(～19時)への対応を図る ・乳幼児保育の実施(7名利用)⇒対応職員2名
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部利用者が増えた場合の適正なる教員配置
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園(別法人)との人事交流の実施(1名)

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・両資格併有 8名 幼稚園教諭 1名 保育士 3名
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議(月1回)の実施(午後7時～9時) 内容・園外研修の報告、相互理解、行事報告と反省評価による翌月の課題についての検討会 ・指導計画等について職員同士の意見交換を積極的に実施。また、園外研修として、保育研究会(県内・ブロック内)幼稚園視察を通じて幼稚園に対する理解を深める。 ・年間を通じた研究テーマを設定して園内研修の一つとして位置付けていると同時に、全職員の共通認識を図る。⇒平成17年度のテーマ「食育」
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・園の運営と法人経営について職員の共通認識を図る工夫を行う。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・年度終了後の理事会において、研究テーマの報告を行う(冊子にて配布)

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ほふく室(0歳児)・乳児室(1・2歳)・保育室(保育所対応4室、幼稚園対応2室)・子育て支援対応室1室(兼用)・共用遊戯室 病後児室(定員2名・B型) 1室
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎が平屋建てで全体が見渡せる機能を生かしながら、異年齢交流を促進。 ・地域の中心地にあるので、地域住民にも見えやすい保育園運営が図れる。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部の利用者が少ないので(2名・5歳児)新年度に向けて広報活動中。 ・現在の利用者が幼稚園部へ移行すると保育室の調整を図るなどの配慮を要す。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント等管理システムの設置 ・以前は園舎と病後児室が離れていたが、通路を設置して配膳が容易になる。

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・専用の調理室あり 調理可能園児数 150人
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー児対応、体調不良児対応、残食状況把握等を実施。 ・0～2歳児は完全給食、3歳児以上はご飯のみ弁当でおかず給食の対応 ・年間食育計画の策定で保護者へ教育の一環としての理解を図る。また、献立表の配布や参観日における給食試食により、保護者への情報提供と要望を取り入れている。
②課題など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士・調理師が各教室(2歳～5歳児)をまわり、食材の説明とクイズ形式で栄養についての話を言い、食材への関心を持ってもらう工夫をしている。(週1回程度) ・調理室が園の中心にあり、園児に見せて、食事に対する関心を持つよう工夫。

5 教育・保育内容① 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など
(6を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園(0～2歳児)⇒子育ての悩み等を聞きながら情報交換の場の設定 ・3～5歳児への地域との交流(地域諸活動への参加) 地域の子育て支援センターとしての役割 ・小学校行事を通じた連携活動の実施 ・病後児保育の実施(午前7時～午後6時) ・延長保育(早朝7時～)(夕方19時まで)
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育の在り方検討会を開催し全職員での共通認識を図る。 ・保育所指導計画を踏まえながら幼児教育機能を付加させた指導計画の策定を図る。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会のメンバーとして小学校長が関わっているだけでなく、小学校教職員との交流について行事以外で多く取り入れながら、保育園と小学校の相互理解をさらに図るようにする。
③その他特記事項	

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園と幼稚園部とは分かれているが、遊びを含め合同クラスで実施 ・異年齢保育の実施(週2～3回程度・外遊びを実施する時)(3歳～5歳児) ・合同給食の実施(4歳と5歳児)→年長児が指導を行い協力し合う事を学ばせる。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部の利用者が増えた場合の対応で見直しが必要となる。(合同保育の実施と人員体制)
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③ その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・「キンダーガーデン調査研究委員会」及び「総合施設における就学前教育の在り方調査研究部会」の設置: テーマ ①総合施設における就学前教育の在り方について ②過疎地における総合施設のあり方について ・運営適正化委員会を設置し、苦情対応と問題解決のための窓口を設ける。 ・連絡帳などから苦情と思われる事例が出た場合は、その都度担当者と検討の上対応を行う。
--	--

8 子育て支援

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園の実施(対象児 0～2歳児)
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園(月2回実施)午前中→子育て相談を中心に実施 ・育児相談窓口の設置(人権擁護委員経験者理事1名・カウンセラー中級講座修了の保育士1名) ・学童保育(指導員2名)→小学校の空き教室利用 ・一時保育の実施→保護者の緊急的事情により対応する。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・市行政との連携による子育て支援センターのネットワーク強化
③その他特記事項	

施設名・所在地	みらい幼児園おかべ 埼玉県岡部町(平成18年1月から深谷市)
設置主体	公立・私立
施設類型	① 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・町立幼稚園3園と町立保育所3所を廃止統合し、17年4月開所。子育て支援センター併設。 ・幼稚園部は4～5歳の2年保育。幼・保で同一カリキュラムだが、クラス編成は別。 ・園児数約210人(幼90、保120人)。また、子育て支援を毎日行っている。

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・統一カリキュラムだが、クラス編成は幼稚園、保育所で別。 ・職員配置は、幼・保それぞれで行っており、それぞれの認可基準を満たす。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ幼・保の配置基準を満たし、また、余裕職員がサポートしている。 ・専任の栄養士(非常勤)、子育て支援指導員を配置している。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部は、幼稚園教員免許状のみの所有者。保育所は、ほとんど併有者。保育士のみの方が幼稚園教員資格認定試験を受験するも不合格とのこと。 ・全員の職員会議を確保するのが時間内には難しいとのこと。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議は、時間外などを活用し、毎週開催。 ・保育士の打ち合わせは午睡時。 ・土曜日等を利用して、外部講師を招いて幼保の研修を行っている。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に伴い、センター長が置けなくなってしまった。幼保分断の懸念。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・前センター長意見:「免許併有化をさらに促進してほしい。」

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭は広く、園舎も新築で広い。木のぬくもりを重視。ただし新築ゆえに環境の蓄積は不足。職員室は、事務室として幼・保共有としている。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・立派な建物・園庭である(園庭だけで2,700平米以上ある。)
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の蓄積(例えば、樹木などが少ない。隠れ家的な遊び場が少ない。)
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教材費については、保育所予算の方が厚く、保育所の方が遊具等が充実。

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園方式。幼稚園も含めて、完全給食。 ・栄養士を単独配置(非常勤)し、食育の充実に努めている。 ・幼稚園児の給食について、保護者の抵抗は特になく、むしろ歓迎しているとのこと。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の単独配置。また、アレルギー食対応も実施。
②課題など	
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士を活用した親への食育教育も緒についている(ただし、一層の充実の余地はある模様)。

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	・幼・保で統一カリキュラムを策定。幼稚園教育要領と保育所保育指針の融合等。
①評価できる点など	・幼・保で統一カリキュラムを策定。
②課題など	
③その他特記事項	・幼・保のクラス編成は別。 ・なお、幼稚園において夏季休業を設けずに希望保育を実施。約6割の子が参加。 ・町予算でALTによる英語と親しむ事業を週1回実施。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・幼・保のクラス編成は別。 ・異年齢交流は、主に学校行事において行うようにしている。
①評価できる点など	・異年齢交流に一定の配慮。
②課題など	
③その他特記事項	

7 教育・保育内容③ その他

①評価できる点など	・合併した広域施設であるが、地域との連携は図っており、例えば、公募ボランティアの活用や、地域農家の協力を得た収穫体験などを実施している。
②課題など	・今年度、保護者会を立ち上げることができなかったことが課題。 保護者会を通じた親の子育て力向上や、園を支えるマンパワーの養成ができていない。

8 子育て支援

書面調査概要	・子育て支援センターを併設し、週5日(火～土)の全日、子育てひろば実施。
①評価できる点など	・子育て広場は盛況(訪問時も30組活動)。町予算で専任職員を配置。
②課題など	(・地域のボランティアやNPOの活用は図っていない。)

9 その他

・今年になり市町村合併が行われた。旧来の町の教育・保育方針を受け継げるかどうか
が課題。
すでに、新市の他の園との均衡からセンター長が廃止され、幼稚園長・保育所長の
2頭体制になっており、組織運営上の課題を感じさせる。

総合施設モデル事業 実地調査票 調査者：小笠原委員、北條委員、増田委員、無藤委員

施設名・所在地	二葉すこやか園（二葉幼稚園・二葉つぼみ保育園） 東京都品川区
設置主体	公立・私立
施設類型	1 幼保一体型 2 幼稚園型 3 保育所型 4 その他
施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・区立幼稚園(4～5歳児)の空き保育室を活用し、平成14年9月、0～3歳児を対象の保育所を設置。「低年齢児は保育所、年長児は幼稚園」という連携型施設。 ・定員43人対124人。幼稚園児のうち保育に欠ける子(定員40人)は預かり保育で対応。

1 職員配置

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置は、幼・保の各々の認可基準を満たす。 ・幼稚園長が保育園長を兼務し一体的運営を図る。園長と保育長(保育所責任者)との相互理解と連携が職員研修、保育内容等の充実に繋がっている。非常勤の栄養士・看護師を活用。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・園長と保育長(保育所責任者)との相互理解と連携が職員研修、保育内容等の充実に繋がっている。 ・幼・保の基準に加え、フリー職員を活用するなど手厚く対応している。 ・区内の他の公立保育所と人事交流があり、保育士2人の派遣を受けている。 ・障害児のために補助職員を配置。
②課題など	
③その他特記事項	

2 職員資格・研修

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤15人のうち14人が併有(1人幼稚園のみ)。非常勤には幼稚園のみが多い。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員は区のワークシェアリング制度を活用して募集しているが、有資格者を採るようにしている。
②課題など	
③その他特記事項	

3 施設設備(4を除く)

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと幼稚園単独だったので他の連携型と比して、相対的に園庭・園舎は狭い。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎・園庭の狭さを、隣接する中学校の校庭や屋上プールを活用することで補う。 ・狭い空間を有効活用し、低年齢児のためのよく検討された小さな庭を整備している。
②課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所部は幼稚園の空き教室を転用した関係で、狭い印象。(園長談:もう1部屋あれば、ゆとりのある保育を実施できるのだが。) ・預かり保育用に1室あるが、最近、預かりの希望が増加(定員40人に70人希望し45人程度で実施)し、ゆったりとした保育の実施が難しくなっているとのこと。
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児受入れについては近隣の別の保育所との連携も図っているとのこと。

4 給食の状況

書面調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自園方式(公設民営)。幼稚園は、給食と弁当の併用。 栄養士は非常勤。
①評価できる点など	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所部設置に当たり5千万円かけて調理室を整備。調理業務は業者委託だが、献立の作成等には区の栄養士を活用。 ・アレルギー食対応など細やかな対応も行っているとのこと。
②課題など	
③その他特記事項	

5 教育・保育内容① (6を除く) 教育課程・保育計画、指導計画等における工夫など

書面調査概要	・0歳～5歳のカリキュラムを工夫。
①評価できる点など	・0歳から5歳への子どもの発達段階に応じたカリキュラムを工夫。 特に0～3歳の保育所から4～5歳の幼稚園への接続を重視。 ・4～5歳児について、預かり保育の指導計画も策定している。 長時間児の1日の生活の流れを、時間帯によってメリハリのあるよう工夫。 ・保・幼の接続については保護者向けパンフレットを作り理解に努めている。
②課題など	
③その他特記事項	・園長等談: 保育所と幼稚園の定員がアンバランスなことが幸いし、保育所では家庭的な保育、幼稚園では集団における幼児の育ちが保障できる。 ・同園では、同園保育所児の同園幼稚園入園を優先。ほとんど持ち上がるとのこと。

6 教育・保育内容② 同一年齢保育及び異年齢保育の取り組み状況

書面調査概要	・4～5歳児は短時間児・長時間児の混合。預り時間が異なること等に配慮。
①評価できる点など	・保育所児については4つの年齢が2室で保育されており家庭的に保育している。 ・4～5歳児について、預かり保育についての指導計画を策定するなど教育上の配慮を行っている。
②課題など	
③その他特記事項	・預かり保育室について短時間児の保護者のお迎え時には窓にカーテンを引くなど、短時間児、長時間児のプライバシー保護や心理面に配慮した対応を行っている。

7 教育・保育内容③
その他

	<p>・家族の絆を大事にしてほしいので、保育所の開所時間は12時間としている。</p> <p>・職員室が幼・保同じスペースであることが功を奏し、幼稚園教諭と保育士の職種を超えた相互理解が進むよう、合同研修を積極的に行っている。</p> <p>・また、幼稚園部は年齢別に毎日、打ち合わせ・研修を行っている。 水曜日は幼稚園児が早帰りなので、幼稚園部の会議を開催。 保育所部も含む全体会議は1月に1回。 園内研修にリーダーを定めるなど研修の工夫をしている。</p> <p>・園の外部評価について保護者アンケート等を実施。 また、保育所部は今年度、都の第三者評価を受け、個人情報管理等の助言を受けたとのこと。</p>
--	---

8 子育て支援

書面調査概要	・在園児の家族会(不定期)、園舎開放などを実施
①評価できる点など	
②課題など	・園舎が狭く、子育て支援用の専用スペースが確保できないのが欠点とのこと。
③その他特記事項	

9 その他

・保育所から、ほとんどの子どもが幼稚園への入園を希望し、預かり保育で対応できている背景に、幼稚園の保育料の低廉さがある